

はじめまして ロバートです！

小学校の学習指導要領が変わり、高学年になると外国語活動の授業が新たに加まりました。外国語活動は、他国の言語や文化を体験し、音聲や基本的な表現に慣れコミュニケーション能力を高めることを目標に、教師と外国語指導助手(ALT)が協力し授業を行います。

小野町では幼児期から外国語に触れる機会をつくり、継続的に取り組んでいます。

4月からALTとして、小学校、幼児施設で活動しているロバート先生を紹介いたします。



はじめまして。ロバートブルームントールです。ロビーと呼んでください。ニューヨークから来ました。ドイツ語で「ブルーム」は「花」で「エントール」は「谷」という意味です。ぼくの父は6歳のときハンガリーからアメリカに来ました。家族は父、母、祖母として姉と弟がいます。

祖母はいつもハンガリー料理を作ってくれました。ハンガリー料理はとても辛いので、辛い料理はどんなに辛くても食べられません。いろんな国の料理に関心があります。例えば、インド料理は大好きです。

もちろん日本料理も好きです。その中でも刺身は大好きです。お好み焼きやそばも好きです。小野町に来て初めて「どじょう」を食べました。おいしかったです。

有名なオーケストラに入って世界中を回る夢を持っています。10歳の時からずっとトランペットを吹いています。オーケストラに入れるように毎日練習しています。

4月から小野町に住んで、小学校と幼稚園や保育園で英語を教えています。小学生は笑顔など、ぼくの生活に喜ぶことを持ってきてくれます。特に小さな学校は家族のようです。

小野町に来て、運動会やスポーツフェスティバル、流し踊りに参加しました。とても楽しかったです。

それでは、今後ともよろしくお願ひします。

We enjoyed to play with Robbie!

～小野わかば幼稚園～

小野わかば幼稚園で6月4日、22日、29日の3日間、英語教室を行いました。

子ども達は先生と日中を過ごし、全員が集まって英語の指導を受けるだけではなく、園庭でフープジャングルを回してもらったり、一緒にかっこをしったりして楽しみました。

先生の会話はほとんどが英語で、日本語ではあまり話しませんでした。最初は何を言われているのか分からない子ども達でしたが、「先生は何を言っているのだろう」と一生懸命聞き、「こんなことを言っているのかな」と自分で考えていました。日本語で説明をすることは簡単ですが、自分で考えて理解していくことで、子ども達の考える力・想像力が育ってきているように感じました。

英語教室の後、「これは英語でなんて言うの?」と言う子ども達の質問に保育者が答えたり、カードを使ったゲームの中で簡単な単語を覚えたり、遊びの中でも英単語が少しずつ出てくるようになりました。



I am from America. 話は全て英語でした。



My name is Robbie.
Nice to meet you.



いつもより早いスピードで回るフープジャングル